

防災<sup>かける</sup>×テクノロジー  
官民連携プラットフォーム



に関するご案内



内閣府

## 概要

- 近年、頻発化、激甚化する災害に対して、より効果的・効率的に対応していくためには、デジタル技術を始めとする先進技術を積極的に活用していくことが重要である。
- 一部の地方公共団体等では、すでに、こうした先進技術の活用が進められ、災害対応において効果を発揮しているものの、多くの地方公共団体等では、先進技術に関する情報収集や技術導入の機会が限られている。
- このため、内閣府では、**災害対応を行う地方公共団体、公的機関等の困りごとや関心事項(ニーズ)と、民間企業、研究機関等が持つ先進技術のマッチング**や、**効果的な活用事例の横展開**等を行う場として、「**防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム**」（防テクPF）を設置（令和3年7月）。

## 活動内容

### マッチング支援

- ・災害対応を行う地方公共団体等の困りごとや関心事項(ニーズ)と民間企業等が持つ先進技術のマッチングの場の提供



・ マッチングサイトの開設

・ マッチングセミナーの開催



### 先進技術の活用事例の共有、導入に関するノウハウ等の全国展開

- ・ 先進技術の導入事例、効果的な活用事例を共有
- ・ 技術導入における課題の洗い出しや効果の検証を行い、それら先進技術導入に関するノウハウ等を全国展開



マッチングサイト・マッチングセミナー等を通じた情報発信

防テクPFサイト  
登録はこちらから



## 概要

- 「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」（防テクPF）の一環として、災害対応を行う地方公共団体等の困りごとや関心事項（ニーズ）と民間企業等が持つ先進技術のマッチングを行う「マッチングサイト」を開設（令和3年7月）。
- マッチング機能に加え、平時から復旧・復興期までの災害フェーズ、風水害、地震といった災害種別等に応じてニーズ/先進技術の検索も可能。

### ニーズの登録例

- 河川水位等を観測・通知する仕組み
- 外国人等情報弱者への避難情報伝達
- 効果的な防災訓練の手法 等

## マッチングサイト



### 技術の登録例

- 河川の水位予測システム
- スマホ向け防災アプリ・防災システム
- SNS等からの情報収集・解析システム 等

### 地方公共団体等

ニーズの登録

技術の検索

・登録件数：379件

※令和5年9月末時点

技術の登録

ニーズの検索

### 民間企業等

・登録件数：938件

※令和5年9月末時点

## 現在の機能

- ・登録したニーズ/先進技術(1団体で複数のニーズ/先進技術の登録が可能)に合致する先進技術/ニーズのマッチング
- ・災害フェーズ(平時、危険切迫時、応急対応時、復旧・復興期)、災害種別(風水害、地震、土砂災害、津波、火山災害、雪害、火災等)、団体の所在地、予算規模、導入時期、導入実績・表彰歴、キーワード等の諸条件を絞ったニーズ/技術の検索

防テクPFサイト  
登録はこちらから



# マッチングセミナーの開催状況



## 概要

- 地方公共団体等の先進技術の導入事例や効果的な活用事例、防テクPFの優良活用事例を紹介する「マッチングセミナー」を定期的開催。
- 「マッチングセミナー」では、活用事例等の紹介を行う他、自治体と企業による「個別相談会」や、自治体・企業等の取組・アイデア展示を実施。

	日程	開催地	主な話題	個別 相談会	アイデア 展示	参加者 数	備考
第1回	R3.8.31	オンライン	・防テクPF説明 ・官民連携事例			558	棚橋防災担当大臣より挨拶
第2回	R3.11.5	釜石市	・官民連携事例 ・マッチングサイト	●		296	「ぼうさいこたい」のプレイベントとして開催
第3回	R4.2.10	オンライン	・官民連携事例 ・マッチング事例	●		365	福岡開催予定だったがコロナ禍で急遽変更
第4回	R4.6.22	新潟市	・官民連携事例 ・防テクPF活用事例	●	●	320	新潟県イベントを同日開催
第5回	R4.9.20	神戸市	・地方公共団体 官民ネットワーク紹介 ・防テクPF活用事例	●	●	322	「ぼうさいこたい」のプレイベントとして開催
第6回	R5.2.10	仙台市	・日本海溝・千島海溝周辺 海溝型地震対策 ・防テクPF活用事例	●	●	318	仙台市イベントを同日開催
第7回	R5.6.1	高知市	・南海トラフ地震対策 ・防テクPF活用事例	●	●	245	高知県イベントを同日開催



マッチングセミナー



個別相談会



アイデア展示

**次回は12月1日に静岡県で開催予定（参加者募集中！）**

# マッチングセミナーにて内閣府施策や 大地震に有効な官民連携事例を紹介

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対策  
(R5.2.10@仙台)

南海トラフ地震対策解説 (R5.6.1@高知)

**今後、自治体が具体的に実施を進めていく対策**

**避難路・避難施設等の整備**  
積雪寒冷を考慮した津波避難タワーや避難路の整備、津波避難ビルの指定等を推進し、避難距離や避難時間を短縮することで、避難の遅れによる津波被害を軽減

**避難時における防寒対策**  
避難場所での防寒具・暖房器具、発熱入り非常食等を備えるほか、高台等においては、屋内の避難場所への二次避難路を確保し、屋外又は寒い屋内の避難場所における低体温症のリスクを軽減

**防災教育・防災訓練の充実**  
地域や学校における防災教育や防災訓練を通じて、住民の避難意識を向上させ、津波からの早期避難を促す

**情報伝達手段の多重化・多様化**  
・防災行政無線  
・Jアラート（全国瞬時警報システム）  
・Lアラート（災害情報共有システム）  
・テレビ（ワンセグを含む）、ラジオ（コミュニティFMを含む）  
・携帯電話（緊急連絡メール機能、アプリ、SNSを含む。）  
・緊急警報放送、インターネット等  
を用いた伝達手段の多重化・多様化や高度化、発信する情報の多様化等を推進



<https://www.youtube.com/watch?v=eGjCIZUALps>

**南海トラフ沿いにおける大規模地震の発生履歴**

- 南海トラフ沿いでは、おおむね100～150年で大地震が繰り返し発生
- 発生形態は、駿河湾から四国沖にかけての複数の領域で同時あるいは2年程度の時間差で発生する等多様性がある

**直近の昭和南海地震（1946年）発生から  
まもなく80年が経過。  
地震はいつ起きてもおかしくない。**

南海トラフ沿いで過去に発生した大規模地震の震源域の時空間分布  
(地震調査委員会、平成25年5月公表資料に追加)

過去には時間差で発生した事例もある



防災・テクノロジー官民連携プラットフォーム第7回マッチングセミナー（内閣府主催）

防災 内閣府  
チャンネル登録者数 2.23万人

チャンネル登録

高評価 共有 保存

[https://www.youtube.com/watch?v=w\\_9rkKAIRpA&t=592s](https://www.youtube.com/watch?v=w_9rkKAIRpA&t=592s)

過去のセミナー資料はこちら ▶ [https://www.bosaitech-pf.go.jp/#mt\\_semi](https://www.bosaitech-pf.go.jp/#mt_semi)

マッチングセミナー映像・アーカイブズはこちら ▶

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLCsr11RkdScGVmEkEwccpSlperl7ePguY>

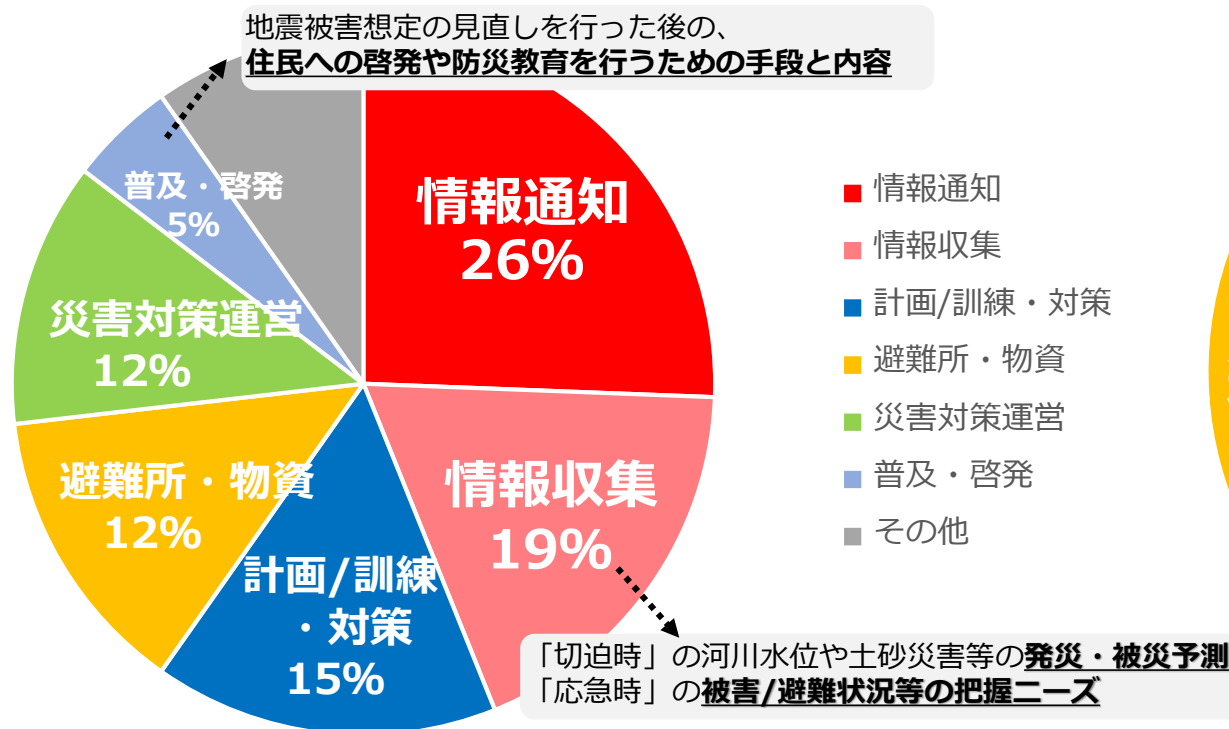


# 防テクPFを活用し災害対策を！！

- 現在マッチングサイトにおいて、82件のニーズ、447件の技術・商品・サービスが登録。
- ニーズでは、災害/避難等の「情報通知」及び 発災/被災予測等の「情報収集」が4割以上、「計画/訓練」「避難所・物資」「災害対策運営」関連がそれぞれ1割強を占める。
- 技術・商品・サービスでは、ニーズと同様に「情報通知」「情報収集」が4割以上を占め、次いで「避難所・物資」関連の提供割合が3割強と高い。

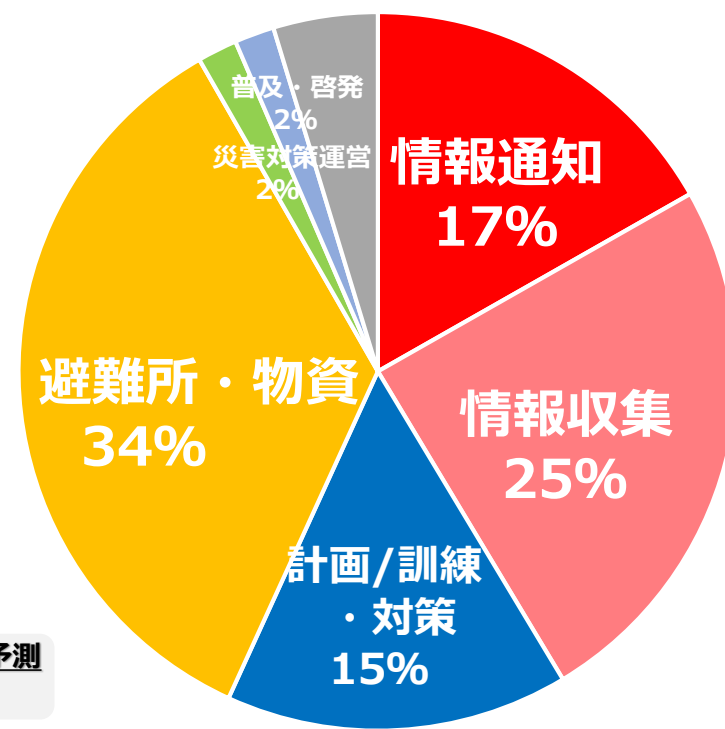
## ○ニーズの傾向 (R5.4時点)

登録先数：279件 登録ニーズ件数：82件



## ○技術・商品・サービスの傾向 (R5.4時点)

登録先数：814団体 登録技術件数：434件



平時、切迫時、応急時、復旧時にわたり災害対応の多種・多様なニーズ・技術が登録

# 令和5年度防テクPFを通じたマッチング事例



- 防テクPFを通じ、**89件**（37自治体,59企業）がマッチング。
- 上記のうち、現在打合せや実証実験が進展している事業は48件。  
※令和5年5月時点

## ① 打合せ・実証中

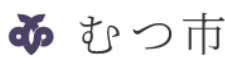
**15**件



等 10自治体13企業

## ② 予算化検討中

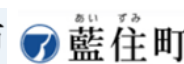
**23**件



等 10自治体

## ③ 予算確保

**9**件



4自治体

事業化済み  
※PF外企業

事業化せず  
※検討に貢献

## ④ 事業化済

**1**件



1自治体

**7**件

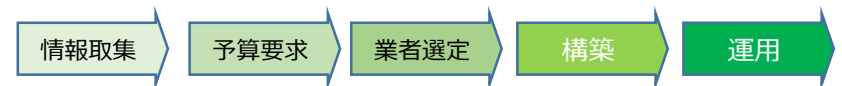
5自治体

**34**件

# 防テクPF活用事例 ～マッチングまで進んだ自治体の事例～



自治体名	ニーズ	構築システム	背景	PF活用理由	財源	PFメリット	スケジュール			
							R3	R4	R5	R6
京都府 福知山市	避難情報の迅速な発令	避難情報発令支援システム	<災害> H30.7豪雨 <制度> ガイドライン改正 <上位方針> あり方検討会	何から手を付けてよいかわからない  仕様が作れない  情報源が少ない	緊防債	・公平性 ・複数社と実証 ・スクラッチでの開発 ・ニーズのブラッシュアップ	R3.7 サイト登録		台風7号で効果を確認	
新潟県 長岡市	効率的な個別避難計画策定	個別避難計画策定支援システム	<制度> 災対法改正		自治体予算	・新たな選択肢の発見 ・複数社から情報収集 ・ニーズのブラッシュアップ	R4.6 個別相談会参加		R5.8 公募・選定	
兵庫県 たつの市	情報伝達の多重化	防災無線音声アプリ配信	<環境> 防災行政無線更新のタイミング		緊防債	・新たな選択肢の発見 ・複数社から情報収集 ・ニーズのブラッシュアップ	R4.9 個別相談会参加		R5.6 契約締結	
宮城県 山元町	災害対応の円滑・迅速化	災害対策本部運営システム	<災害> R3,4福島沖地震 R1.10台風19号 <上位方針> 首長マニフェスト		デジ田 交付金	・ニーズのブラッシュアップ ・複数社から情報収集	R5.2 個別相談会参加	R5.6 補正予算措置		R5.9 公募・選定







## (1) システム導入における防テクPFの活用

### ○ ニーズとその背景

**ニーズ** 避難指示情報やエリア別災害危険情報の適時的確な発信に向け、情報を自動収集し判定するシステム

**背景** 平成30年7月豪雨を踏まえた「避難のあり方検討会」の報告

- ニーズは明確。対応は必須。  
何から手を付けるか分からない。

### ○ 防テクPF活用決断の背景

**実施課** ・何から手を付けるか不明  
・企業と作り込む実証実験をしたい  
・実証実験の「公募要領」が作れない

**契約課** ・実証は2社以上と実施を  
・実証先は公平な条件で探索を

**防テクPF** ・マッチング企業と作り込み可  
・ニーズを登録で複数社と相談可(2社以上)  
・登録企業に広く周知可(公平)

- 実施課・契約課の思惑が一致し防テクPF活用へ

### ○ マッチングの進展

～企業とのマッチング～  
・R3.9にニーズ登録、A社とマッチング  
・R4.1にシステム構築のための実証実験の参画企業を募集、同3月A社含む2社参加を決定。  
⇒2社と仕様を検討、実証実験へ (R4.6～10)

～事業化～  
・公募プロボ実施 (R4.10～R5.3)  
⇒A社落札、R5.4よりシステム稼働

- 防テクPFを通じ事業化へ

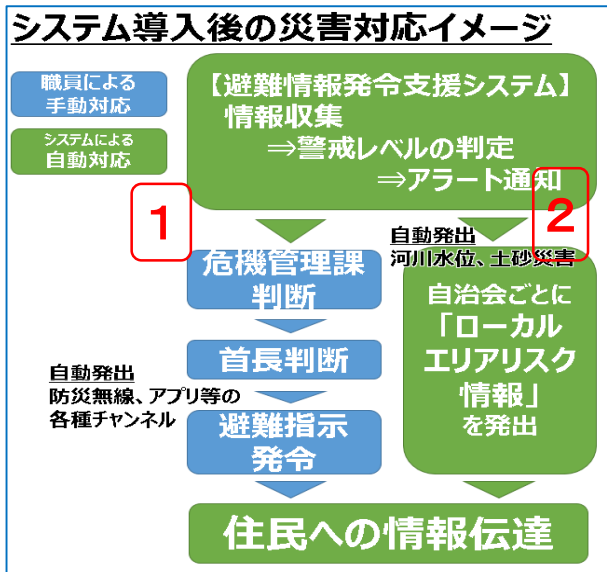
## (2) 導入システムの概要とその効果

### ○ システムの概要

- 各種情報を自動収集し、下記を行う
  - 避難発令アラート自動発出 (職員向け)
  - 自治会別アラートを自動発信 (住民向け)

### ○ システムの効果

- システム導入前 (R4.7) と導入後 (R5.8) では情報発出の迅速化が見られる。



	R4.7大雨	R5.8台風⑦	システム導入による改善要因
避難指示発令	土砂災害警戒情報発令後 <b>1時間15分</b>	土砂災害警戒情報発令後 <b>20分</b>	情報収集自動化 判断迅速化
ローカルエリアリスク情報発出	<b>发出出来ず</b>	<b>发出</b>	自動でエリア別情報分析可能に

- 迅速な情報発出により「生命」を救った事例も

避難指示を受け  
2階に逃げたことで助かった  
(1階は土砂流入)



被災者の声 (福知山市調べ)

## ～福知山市職員のコメント～

・恣意性なく複数社と相談できた  
・公平性を担保し関係者の協力を得られた  
・実証実験を通じシステムを作り込めた  
・R5台風7号で活躍。  
⇒防テクPFだから実現出来た。感謝している。



# 第8回マッチングセミナー（R5.12）の概要（案）



## 【日時・会場】

令和5年12月1日 10:00～17:00 @グランシップ（※オンライン併用）

現状の想定です（変更可能性あり）

## 【議事内容】

### 【第1部】内閣府主催 10:00～12:00

- 国の自治体支援施策について
  - ・支援施策の概要（支援施策所管部署より説明）
  - ・支援施策活用事例について（自治体より説明）
- 防テクPFの活用事例について
  - ・マッチング件数・事例について（内閣府）
  - ・防テクPF活用事例について（自治体）
  - ・令和6年度の活動について（内閣府）



### 【第2部】静岡県主催 13:00～14:30

- ・静岡県



### 【第3部】内閣府主催 15:00～17:00

- 自治体と企業の個別相談会
- 自治体・企業等の取組・アイデア展示

# 第3部 「個別相談会」について



## 概要

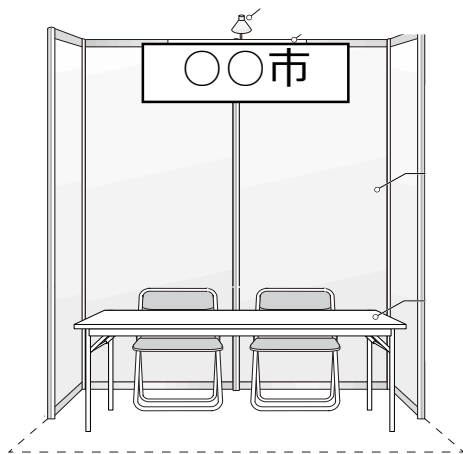
- 災害対応上のニーズを持つ**地方公共団体**と先進技術を持つ**民間企業等**が**直接相談等を行う場**として、**個別相談会を実施**。
- 事前の申込結果をもとに事務局であらかじめ決定した時間割に沿って進行。

### 現地ブース

自治体専用の相談ブースを設置

ブースで自治体と企業で1対1のお話ができます。

※現地ブース出展者は現地の参加者とのみ相談を行います。



企業参加者

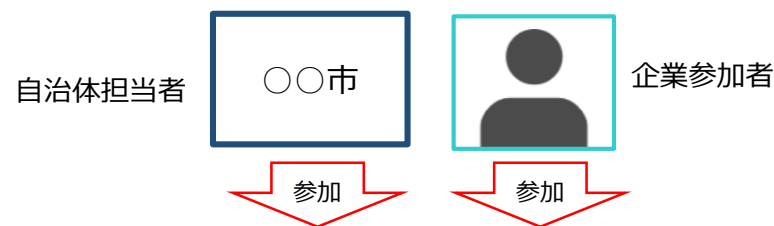


### オンラインブース

Zoomのブレイクアウトルームで自治体ごとに部屋を設置

各部屋で参加企業と個別にお話することが可能です。

※オンラインブース出展者はオンラインの参加者とのみ相談を行います。



# ○参加企業を募集します

※応募期限：11/2（木）18：00



防テクPFでの  
マッチング89件のうち  
**約半数**が  
個別相談会でマッチング！！

## 【第3部】個別相談会・自治体一覧（現地ブース）

自治体名	相談したい事柄
静岡県 富士市	<p>災害時に<b>災害対策本部に集まる大量の情報</b>を<b>AI技術等を用いて</b>全体で共有する情報・特定部署に通知する情報・報道提供する情報等に<b>自動的に分類し、負担軽減と迅速化、効率化をはかりたい。</b></p> <p>①既存の情報入力システム（イントラネット内）との連携（災害情報を抽出し分類等）                  ②自主防災会からの情報収集                  ③LINEやX（旧twitter）等のソーシャルメディアを活用した情報収集                  ④AIを活用した住民向けの効率的な情報発信（双方向型、チャットボット等）</p>
神奈川県 平塚市	<p>風水害時の情報収集を効率化するために、<b>道路冠水、アンダーパスの浸水状況や市管理の水路、河川等の状況をリアルタイムで把握し、職員・市民が情報を見られるようにすること。</b>既存の「ひらつか防災気象ウェブ」（県、国の河川水位やライブカメラを統合して配信）への追加、あるいは新たな「防災ポータルサイト」の構築で実現できること。</p>
静岡県 静岡市	<p>デジタル地域防災無線を運用しているが施設の老朽化や維持管理コストに課題</p> <p>①<b>災害時にも利用できるあらたな通信手段</b>を確立したい                  ②土砂崩れなどの災害が発生した際に、<b>市の本部から映像などを通して、現場の状況を把握</b>したい                  ③<b>市民などから災害情報を収集するための効率的な手法や、発信方法</b>を検討したい</p>
静岡県 浜松市	<p>①発災時に、<b>山間部や重要インフラ施設などで確実に情報伝達ができる通信手段を確立</b>したい。移動系の地域防災無線設備の製造中止が進む中で、地域防の代替手段（地域防の継続、衛星、I P無線等）の基本構想を検討する中で幅広く情報収集したい。                  ②備蓄倉庫が不足してきている中で、<b>備蓄品・避難所の物資や電源、環境等の適正化</b>を行いたい。特に現在定められている備蓄品の目標数を見直しや、避難所の環境に合った適切な物資が確保しているかなど。</p>
静岡県	<p>避難意識向上を図るために県民へ提供している<b>「わたしの避難計画」をさらに推進するためにデジタル技術の活用や防災教育に連携させたい。</b></p> <p>①「わたしの避難計画」をより主体的に作成できるように「バーチャル静岡」の活用や被害シミュレーション等との連携などを踏まえた提案。                  ②小中学生の避難意識を向上させるために「わたしの避難計画」を組み込める防災教育のツールなどの提案。</p>
静岡県 小山町	<p><b>災害時の町民への情報発信と町民からの情報収集を効率的にしたい。</b>人口が少ない中で効率的にかつ早く収集する方法がないか、広くアイデアを募ってその中から検討したい。</p> <p>①災害時の町民への情報伝達手段。現状はHP、LINE、メールで配信しているが、個別に文書を作成しているので一括配信ができるシステム。                  ②災害情報の町民からの収集を効率化にしたい。静岡県のシステムはあるが、町で使える効率的な収集方法を検討したい。</p>
静岡県 東伊豆町	<p><b>消防団員の活動をアシストするようなアプリ等の提案</b></p> <p>①消火栓や防火水槽の位置がわかるデジタルマップ                  ②火災発生時にどこで水利部署しているか確認できる                  ③火災現場や水利までの経路                  ④出勤指令の通知が来る                  ⑤その他、団員の負担軽減や事務の効率化につながるもの</p>

# 個別相談会について

## 【第3部】個別相談会・自治体一覧（現地ブース）

自治体名	相談したい事柄
静岡県 沼津市	① <b>災害対策本部の情報処理の効率化</b> 、迅速化及び共有を図れる機能 ②住民が風水害時の避難行動を <b>マイ・タイムライン</b> として作成、登録できる <b>アプリ</b> ③作成者（自治会など）が <b>個別避難計画</b> を簡易に登録・作成できる <b>アプリ</b> （web上での作成） ④避難所における <b>避難者の受付、集計、把握の機能</b>
静岡県 袋井市	<b>全市民の災害時における安否確認ができるITツール。</b> 9万人市民の災害時における安否確認を携帯電話やスマホを使って実施できる事例やそれに近いアイテムがあれば教えてほしい。
静岡県 掛川市	・現在、 <b>デジタル・アナログ併用型の既設防災行政無線（同報系）の更新</b> にあたり、併用型を継続するか、完全にデジタル波へ移行するか、いずれの案においても <b>コストメリットある提案</b> が欲しい。

## 【第3部】個別相談会・自治体一覧（オンラインブース）

自治体名	相談したい事柄
大阪府	<b>2025年開催予定の大阪・関西万博</b> に向けて、 <b>来場者の安全確保</b> 、特に災害時における <b>避難情報の発信や避難誘導</b> など様々な災害対応力の強化が求められている。その中で <b>先端技術を活用した災害対応力の強化（都道府県単位のドローン活用方法等）</b> を図りたい。
愛知県 大治町	避難所の倉庫のスペースに限りがあり、期限が到来する食料等も多い中で、 <b>より効率的な備蓄の購入及び管理方法を模索中</b> 。 民間企業と連携した流通備蓄方式の導入を検討したい。
静岡県 三島市	災害対策本部に通報のある被害情報に誰がどのように対応したかを現在は紙ベースで事案をまとめている。市内の被害状況が地図情報に落とし込めていないためどこで何が起きているかということが一目で把握できない。被災現場の写真などを地図情報や事案と結びつけることができている。上記を解決するような <b>被害状況管理システム</b> などの提案を受けたい。
静岡県 西伊豆町	① <b>被災現場の映像情報</b> を現場に駆け付ける自治体職員や住民からアプリなどを活用して <b>迅速に地図上にプロット</b> できる仕組みを検討したい。 ②自治体による <b>消防団の運営管理業務を効率化</b> できる提案がほしい。

# ① マatchingサイトのご登録

- Matchingサイトへのご登録をぜひお願いいたします
- ・まずはアカウントだけでもご登録ください。
- ・同じ組織で（異なる業務を担当している部署など）複数ご登録いただくことも可能です。

※無料でご登録いただけます

（活用例）アカウントに登録後、自治体・企業の登録ニーズ・商品を開覧できます

- その後、防災に関するニーズ・技術のご登録をお願いいたします

# ② セミナーへのご参加

- セミナーへの参加（現地、オンラインどちらでも参加可）をお願いいたします。
- 第1部（内閣府セミナー）第2部（静岡県セミナー）ご参加登録はこちら
- 第3部（自治体との個別相談会）ご参加登録はこちら

企業版ふるさと納税  
を活用した  
防災ニーズ／防災PoC  
も大募集！！



サイトは登録はこちらから

防災対策に使える  
財源確保事例や  
防テクPF活用事例を紹介！

セミナー



個別相談会

